

<p>1. 杉田 勝典 (公明党)</p>	<p>1. 議案第57号 令和2年度上越市一般会計補正予算(第1号)について</p> <p>(1) 市内中小事業等の多くが売上減少や資金繰りなどで苦しみ、中には切迫した企業(宿泊・飲食・サービス業等)も多い中で、13億5千万円余りの補正予算では不十分と考えるが、どうか。また、補正予算編成に当たり、事業継続や雇用維持等に関する市内事業者の声や要望などをどのように集約・分析したか。</p> <p>(2) 市内中小の小売業で売上げが大きく減少する中、市内商工団体向けにプレミアム付商品券の発行(3億4千万円)を行うとあるが、コロナ禍での同商品券の発行効果をどう捉えているか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスの収束にはまだまだ期間が必要であり、当市のイベントや市民生活での自粛継続が考えられる。提案理由の中で、市長は「今後も新型コロナウイルス感染症の収束後の状況を見据え、市民生活や地域経済の回復、地域振興などへの対策について検討を進める」と述べているが、今後の収束に向けてどう見通しているか。</p> <p>2. 議案第81号 指定管理者の指定について</p> <p>(1) 当市にとって「宝」の施設でもあるキューピットバレイスキー場の新たな指定管理者の内定は大いに歓迎すべきであるが、当スキー場を取り巻く運営環境は依然として厳しい状況であることには変わりはない。新しい指定管理者との指定交渉の過程で、運営の好転に向けた突破口の対策についてどう話し合ったのか。</p> <p>(2) 何よりも地域の住民や事業者の理解と協力が重要である。新しい指定管理者になり、運営状況の改善に向けた取組が必要となるが、市として地元関係者との連携をどのように支援するか。</p>
---------------------------	--

<p>2. 上野 公悦 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 議案第57号 令和2年度上越市一般会計補正予算(第1号)について</p> <p>(1) 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と財政調整基金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障を来している事業者に対して、既存の支援制度の拡充や新たな給付による支援を行うための予算を計上しているが、その総額は4月専決補正予算等も含めてわずか16億6千万円あまりである。また、そのうち財政調整基金の活用額は9億5千万円に留まっている。市民の暮らしや市内経済が逼迫する中で、財政調整基金を大きく活用する取組を提案しなかったのはなぜか。</p> <p>(2) 「今後も新型コロナウイルス感染症の収束後の状況を見据え、市民生活や地域経済の回復、地域振興などへの対策について検討を進め、適時適切な対応を図る」とあるが、具体的にはどのような対策を考えているのか。</p> <p>(3) 補正予算案には、この度の議会からの総意に基づく提言をどのように具体化したのか。</p> <p>2. 議案第81号 指定管理者の指定について</p> <p>(1) 安塚雪だるま高原の指定管理者の指定において、「早期に再開できるように公募を行わなかった」とあるが、それだけで公募をしなかった理由になるのか。少々時間をかけても公募を行うべきだったのではないか。</p> <p>(2) 事業の承継に当たって、施設の維持・更新等の必要性は生じないか。また、新型コロナウイルス禍での事業開始に懸念はないか。</p>
--------------------------------	---

<p>3. 滝沢 一成 (輝)</p>	<p>1. 議案第57号 令和2年度上越市一般会計補正予算(第1号)について</p> <p>(1) 去る5月18日、市議会から市長に渡した緊急提言書において、「市の財政調整基金を活用すること」を提言したところであるが、この度の補正予算案において、まさに財政調整基金も活用した補正予算が提案されてきた。そのスピード感を評価するが、一方で、第2次財政計画では各年度で生じる財源不足を財政調整基金の取崩しを行うことによって収支均衡を図っており、非常事態ともいえる新型コロナウイルス禍による財政調整基金の緊急的な繰入れにより、第2次財政計画だけでなく令和5年度からの第3次財政計画にも影響を及ぼすと考えられる。その影響への見解とこれからの財政の健全な運営に向けてどのように臨むのか訊きたい。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス禍の影響は全国に広がっているが、各地域において感染状況や経済状況は異なっており、当市の状況に応じた対策が必要であると考えられる。感染症対策や経済対策において、市独自の対策とその考え方を聞きたい。</p> <p>(3) 市民や事業者が今強く望んでいるのは、各種の対策がスピード感を持って実行されることである。どういう助成を受けられるのか情報を早くほしい、どこに行けば相談できるのか知りたい、申請手続きを簡素化してほしいといった声が上がっている。それらをどう実現していくのか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルスによる影響はいつまで続くか見通しが立たない状況であり、新型コロナウイルスとの共生を視野に入れた対策が必要になる。この度打ち出した様々な施策は、主として現況への対策が中心であるが、これから先長期化し、第2波・第3波が来るともいわれる中、市としてどのような施策を打てるか、打つべきか、また財政的余裕はあるのか、市長の見解を聞きたい。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス禍に対して、市としても長期的な取組が求められるが、市の力だけでは対応しきれない局面が出てくると考えられる。市は、国・県に対して、これからどのような要望を上げていく考えか。</p>
-------------------------	---

<p>4. 江口 修一 (創風)</p>	<p>1. 議案第57号 令和2年度上越市一般会計補正予算(第1号)について</p> <p>(1) 3款1項1目中、社会福祉総務費における生活困窮者自立支援事業について、住居確保給付金の支給要件が緩和された。このことにより、さらに良い制度となり、ぜひ多くの市民に周知を行うことが重要であると考えているが、どのように周知や対応を行っていく予定かを聞きたい。</p> <p>(2) 7款1項2目中、商工振興費における事業継続支援緊急助成金について、支給上限として従業員の人数を5人以下で15万円、5人超で30万としているが、どれくらいの申請件数を想定しているのか。また、賃借料の3か月相当額としたのはなぜか。</p> <p>2. 議案第81号 指定管理者の指定について</p> <p>(1) 安塚雪だるま高原の指定管理者を株式会社スマイルリゾートに指定するとあるが、指定に至った経過と会社の内容を説明して欲しい。</p>
--------------------------	--